



広報

# ぬくもり

第3号

住んでみたい四絡  
住んでよかった四絡  
～認めあい支えあう  
やさしさあふれるまちづくり～



◆ 発行者 四絡地区同和教育研究指定事業推進委員会 (四絡コミュニティセンター内)

す よつがね す よつがね  
住んでみたい四絡 住んでよかった四絡

みと ささ  
認めあい支えあう やさしさあふれるまちづくり

よつがねちく どうわきょういっけんきょういっくすいじぎょうすいしんいんかい  
四絡地区同和教育研究指定事業推進委員会

かいちよう あだちきよと  
会長 安達清志

よつがねちく がっこう  
四絡地区には学校が6つあります。3つのほいくえん ようちえん  
保育園と幼稚園、  
しょうがっこう ちゅうがっこう かくえん がっこう こ たち おも こころ  
小学校、中学校です。各園や学校で子ども達は「思いやりの心」  
「さべつ こころ じぶん たにん たいせつ きも  
差別をしない心」「自分も他人も大切に作る気持ち」などについて  
がくしゅう  
学習をしています。これをじんけんきょういっく  
人権教育といいます。

よつがねちく かくえん がっこう じんけんきょういっく ねっしん こ  
四絡地区の各園や学校は人権教育にとっても熱心です。子どもたち  
だけでなくせんせい じょうほうこうかん こうりゅうかつどう じん  
先生たちも情報交換をしたり交流活動をしたりして人  
けんきょういっく けんしゅう  
権教育について研修をしています。

かくえん がっこう とりくみ よつがねちく さべつ す  
しかし各園や学校の取組だけでは、四絡地区を「差別のない住みよ  
いまち」にすることはできません。ちいき ひと れんけい とりくみ すす  
地域のひとと連携して取組を進める  
ことが大切です。

よつがねちく がいこくせき かた おお す だれ す  
四絡地区には外国籍の方が多く住んでおられます。「誰もが住みよ  
いまち」をつくるためには、こくせき 民族、おたが ぶんかてき 文化的ちがいを認め  
あい、たいとう かんけい きづ たいせつ なかよ く  
対等な関係を築くことが大切です。いっしょに仲良しで暮らし  
やすいまちをつくりましょう。きょうりょく ねが  
ご協力をよろしく願います。

